



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2020 **9** 月号
Vol.115
毎月1回発行(通巻115号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

協会創立10周年記念「功労賞」 受賞者・受賞団体決定! 第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会にて表彰

医療経営士の育成、質の向上、資格の普及において、これまで多大な貢献を果たされてきた6組の個人および団体に対し、本協会はその功績を称え「功労賞」を授与するとともに、次の10年のさらなる飛躍のスタートを誓う。

本協会による初の試み「功労賞」を授与

10月3日(土)、4日(日)開催の協会創立10周年記念・第9回「全国医療経営士」東京大会において、医療経営士の育成および質の向上、資格の普及において、本協会の活動に多大な貢献を果たされてきた個人・団体に対し、その功績を称え「功労賞」を贈ることとなった。表彰対象および受賞理由は表のとおり。3日午前、大会開会式終了後、表彰式が執り行われる。

2010年7月27日に本協会が創立され、同年9月に行われた第1回「医療経営士3級」資格認定試験に530人が受験し390人が合格、この中から初の医療経営士が誕生した。会員数も初年度の161人から5周年に当たる15年8月時には2800余人に達し、現在では1万2000人を超えに至る。勤務先も医療機関のみならず、医薬品製造販売、医薬品卸、医療関連企業、金融機関、税理士、会計士、弁護士等の士業従事者など、その範囲は多岐に及ぶ。法人会員も初年度の3法人から現52法人に急増し、個人正会員、法人正会員いずれも右肩上がりの増加を続けている。

表彰式を次の10年のさらなる飛躍を誓う場

この成長の要因は、本協会の理念に共鳴し、活動の推進・発展にご尽力いただいた数多の個人・団体の力

に負うところが大きい。今回は6組の表彰に止まったが、次の10年において、多数の20周年記念「功労賞」を授与できるように、会員の皆様とともに、表彰式および本大会を医療経営士と本協会のさらなる飛躍とわが国の医療への貢献を誓う場と位置付けたい。

協会創立10周年記念「功労賞」受賞者・受賞団体

名称(敬称略、50音順)	受賞理由(抜粋)
受賞者 中村彰吾 (一般社団法人日本医療経営実践協会参与、公益社団法人医療・病院管理研究協会理事)	第1回全国大会・東京大会(2012年)にて、「医療経営士に求められる役割」等を提言。「経営人材育成 中村塾」ほか、各種セミナー・研究会の講師として、医療経営士の育成および質の向上に寄与。
林 諄 (一般社団法人日本医療経営実践協会理事、株式会社日本医療企画代表取締役社長)	本協会設立時代代表理事として本協会および「医療経営士」資格を創設。全40巻に及ぶ「医療経営士テキスト」シリーズや会員向け情報紙誌『MMSニュース』『理論と実践』、専門誌『月刊医療経営士』ほかの編集・発行を行う。
受賞団体 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市東部病院 (神奈川県横浜市)	本協会および地域支部が主催する事業・研究会等において意欲的に活動する医療経営士を輩出し、医療経営士の資質向上や資格の認知度向上に寄与。
武田薬品工業株式会社 (東京都中央区)	2015年より医療経営士の資格取得を推進。他の製薬企業にまで拡大波及し、MRによる医療経営士の資格取得の流れを加速するとともに、地域医療に貢献する新しいMR像の先駆けとなる。
東京都立墨東病院 (東京都墨田区)	広域基幹病院、救命救急センターとして地域医療に貢献。院長の上田哲郎氏は医療経営士2級の有資格者で、新型コロナウイルス対応でも陣頭指揮を取り、早期の収束へ尽力。
白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院 (石川県白山市)	組織内で医療経営士の資格取得を推奨。全国大会の演題発表において、第2回大会から連続して登壇者を輩出し、5度の受賞を果たすなど高い実績を挙げ続けている。

第9回 全国医療経営士実践研究大会 **東京大会** 現地開催とWEB配信を併用するハイブリッド方式で開催

2020年
10月3日出
10月4日回

医療経営士の時代

新たなる経営改革と地域社会貢献への挑戦

— コロナ後に問われる“突破力”と“創造力” ※大会テーマが一部変更になりました

創立
10周年記念
大会

会場 **六本木アカデミーヒルズ** 港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49F

大会運営委員長 **安藤高夫** 日本医療経営実践協会関東支部支部長 医療法人社団永生会理事長、衆議院議員

懸賞論文・第2回「日本医療経営実践賞」 受賞者(優秀賞1点)が決定!

第9回
東京大会で
受賞記念講演
を実施

本協会が研究費の助成を行う第3回(2020年度)「医療経営に関する研究助成」のうち、懸賞論文・第2回「日本医療経営実践賞」の受賞者(優秀賞1点)が決定した。受賞論文には賞金50万円を贈呈、第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会では受賞記念講演が行われる。筆頭執筆者の鈴木大輔氏から寄せられたメッセージを紹介する。

受賞記念講演を通して さらに考察を深めたい



鈴木大輔氏
共同執筆者1名
公益財団法人慈愛会
今村総合病院総務課長/
医療経営士2級

論文テーマ

2040年に向けての医療機関における
生産性の向上への取り組み
〜組織として生き残るために必要なこと〜

共同執筆者である当院事務長と取り組んできた病院経営の改善に関する実践内容を論文として文書化し、記録に残したいという思いから応募しました。受賞については、身に余る光栄と存じます。実際に現場で取り組んできたことを評価していただき、大変喜んでおります。

論文では、当院における生産性の向上に関するアプローチを振り返り、病院経営との関係性を多角的に分析しています。現場の実践内容と今後の課題を具体的に伝えたいと考え、帰納法

的アプローチで検討を重ねました。分析では、他の医療機関の参考となるように客観性を持たせることに注力しています。

当院の取り組みはまだまだ十分ではないと考えています。そのため、第9回東京大会において受賞記念講演を行い、大会に参加される医療経営士の皆様から多くのご意見をいただくことで、さらに考察が深められると期待しています。そして、病院経営における医療経営士の役割や可能性について、意見交換ができれば嬉しい限りです。

支部NEWS

北海道支部

2020年度医療経営士研究会 北海道支部実践研究大会 「“顔”と“考え”の見える連携づくりを目指して」

支部で初めて実践研究大会を独自開催 第9回東京大会の支部代表者を選出!

新型コロナの脅威をテーマに 中村彰吾氏が基調講演

北海道支部は7月11日(土)、支部長の田中繁道氏(溪仁会グループ最高責任者・医療法人溪仁会理事長)が大会長を務め、「2020年度医療経営士研究会 北海道支部実践研究大会」をオンライン配信形式で開催した。大会の目的の1つは10月3日(土)、4日(日)開催の第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会における支部代表者講演の候補者を検討することであったが、全国大会の講演者を選出するために演題発表形式で研究会が開催されたのは、全国で初めてとなる。

大会では、大会長の田中繁道支部長による挨拶のあと、当協会参与で、公益社団法人医療・病院管理研究協会理事の中

村彰吾氏が「新型コロナの脅威“今まさに病院経営は籠城戦”～医療経営士はいかに戦うべきか～」と題し、基調講演を行った。中村氏は、新型コロナが医療に与える影響について、「少子高齢化、人口減少、低成長といったすでに厳しい経営環境のなかにあって、さらに覆いかぶさるように新型コロナの脅威が病院経営を脅かしている」と解説。自身が顧問を務める病院の事例として、医療経営士の資格を有する医事課係長とともに法人の対応策を検討したことなどを紹介した。

4人の医療経営士が登壇し 日頃の実践の成果を報告

続いて、医療経営士による演題発表が行われ、4人の登壇者がそれぞれ日頃の実践の成果を報告した(下表)。このうち、

第9回東京大会で講演を行う支部代表者に決定した須山氏は、「地域でナンバーワン、オンリーワンの薬剤部」を目指した活動を紹介。「ジェネラリストとして部署間や患者、家族をつなぐ架け橋になりたい」と展望を語った。

大会ではその他にも、医療法人仁友会仁友会本部本部長・北彩都病院事務長の平間康宣氏による特別講演、平間氏と医療法人札幌麻生脳神経外科病院統括診療部長の安田宏氏による“医療経営士1級”対談が行われた。

当日は道内のみならず全国から多くの医療経営士が参加し、支部独自の実践研究大会に対する興味・関心の高さがうかがえた。今後は、こうした取り組みが他の支部へ広がり、支部活動や全国大会がより活性化することを期待したい。

●北海道支部実践研究大会 演題発表者と発表テーマ ※掲載は発表順

発表者(所属・役職)	発表テーマ
吉竹敦史氏(社会医療法人孝仁会知床らうす国民健康保険診療所事務)	事務室から飛び出せ アフターコロナの健診営業
須山博亮氏(医療法人社団積信会三村病院薬剤部薬局長)	地域医療における薬剤部門の戦略的マネジメント～医療経営士・薬局長の視点から～
中村洋志郎氏(医療法人社団なかむら整形外科クリニック事務長)	新米事務長の理論と実践～通所リハビリの開設の効果と考察～
庄武美加子氏(小樽市立病院診療情報管理課)	小樽市立病院におけるがん検診・検診等の効果について

『医療経営士中級テキスト』シリーズが大幅リニューアル!

執筆者に聞く、テキスト学習のポイント

第2弾

『医療経営士中級テキスト』シリーズ(日本医療企画刊)の改訂版および新版が7月下旬より順次発刊されている。

同シリーズは2010年6月に全19巻で創刊。今回のリニューアルでは多くの巻が10年振りに内容を一新した。

今回は、一般講座10巻の須田清氏と、専門講座9巻の島田直樹氏に、医療経営士に向けたメッセージなどをうかがった。

※テキストの詳細は専用サイト
http://www.jmp.co.jp/mm/
をご確認ください。

生活者や患者の視点を意識したマーケティング戦略が差別化につながる

中級【一般講座】10『医療法務／医療の安全管理』

須田 清 すだ・きよし ●弁護士



大東文化大学法科大学院前教授、埼玉県医師会法律顧問、NPO法人市民生活安全保障研究会代表理事。1967年日本大学卒業。1970年東京弁護士会登録。1972年須田法律事務所開設。1996年度東京弁護士会副会長。2000年度関東弁護士会連合会副理事長。『医療調査官制度についての一考察—医療過誤訴訟事件の対応策として』(法学書院)など著書多数。

医療過誤事件は、ゼロにする努力を尽くさねばなりません。そのためにはどうすればよいのか。本書には、そのヒントを記しました。

医療過誤を防止するには、科学的視点と精神的な視点(すべては患者の利益のために職責を遂行するという公益的精神)が必要で、これは医師・看護師・薬剤師等々、国家資格を持つ職業人すべてに求められることです。

それでは、医療経営士の職責とは何か。もし将来、公的な認定資格になる際には、必ず「医

療経営士法」が制定され、その第一条に医療経営士の責務が明記されるはずだ。

医療経営士は医療業務に精通していなければなりません。その上で、患者の視点に立った有益な助言と提案を院長等に行うべき責務があると思います。

臨床の現場で患者に有害事象が生じ、その原因が医療者の作為または不作為に因るとの疑いが生じた時、患者の利益(信頼)を守り、医療現場の秩序を維持するために、何を、どのように行うべきでしょうか。本書では、このことを中心に、全体の流れ

が理解できるよう執筆しました。

まずは、患者の気持ちを尊重して行動すべきでしょうが、医療担当者が悪意(故意)で有害事象の発生に及ぶことは、あり得ないことです。安易に患者の心情を受け入れるべきではありません。そのためには、正しい法的な対応と訴訟における審理を見通した力量が必要です。弁護士等の専門家の助力を適切に求める判断も必要です。

医療の総合職と言うべき役割が、医療経営士に求められております。皆様のご健闘を祈念いたします。

医療の総合職としての職責を全うして、信頼に応えてほしい!

中級【専門講座】9『医療サービスの多様化と実践』

島田 直樹 しまだ・なおき ●株式会社ピーアンドイーディレクションズ代表取締役



アップルコンピュータ(株)、(株)ポストン・コンサルティング・グループ、外資系企業の日本法人取締役を経て、2001年に(株)ピーアンドイーディレクションズを設立。約20年間にわたり幅広い業種・業界の成長戦略の策定と実行支援など多数のプロジェクトに参画し成果を創出。一橋大学商学部卒業。マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院修了(MBA)。

近年、生活者の健康意識は一層高まっています。また、健康・ヘルスケア・病気・病院に関する情報は、インターネットなどを通じて格段に入手しやすくなりました。これまでは「口コミ」でしか得られなかった情報が、SNSなどを通じて瞬時に集まるようにもなりました。生活者・患者は病院が提供しているサービスをどう評価しているだろうか? 今回の改訂にあたり、10年前と今とで生活者・患者の医療・病院に関する満足度の意識がどのように変わったのか、10年前と同じアンケート調査を行

って、差異を比較しました。また、今一度、他業界と医療・病院業界における生活者のサービスに対する期待意識・満足意識などの比較も行いました。

これによって、生活者・患者にとって医療の質はわかりにくいため、看護師・技師・管理栄養士などメディカルスタッフの接遇が非常に重要な役割を果たしていることが改めて浮き彫りになりました。また、施設・設備といったハード面よりも、待ち時間・情報伝達といったソフト面が、満足度により大きな影響を及ぼすこともわかりまし

た。今回の調査から、生活者や患者の立場を念頭に置いてマーケティング戦略を考えている病院・クリニックは、大きく差別化できるという結論が導かれます。

本書では「4P」というマーケティングの枠組みを紹介しています。「4P」はマーケティング思考で重要なPで始まる4つの視点・要素です。セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニングについても触れています。患者視点で医療機関・病院の分析をする際に有益なツールですので、しっかり習得していただければと思います。

最新情報が満載、ベストセラー待望の5訂版発刊!

医療経営士実践テキストシリーズ1

なるほど、なつとく

医療経営Q&A50

初級【5訂版】

著者:長 英一郎(東日本税理士法人所長、医療経営士1級、医療経営指導士)

■定価:本体3,300円(税込)⇒**会員価格:2,640円(税込)** ■体裁:A5版/並製/300ページ

主な内容

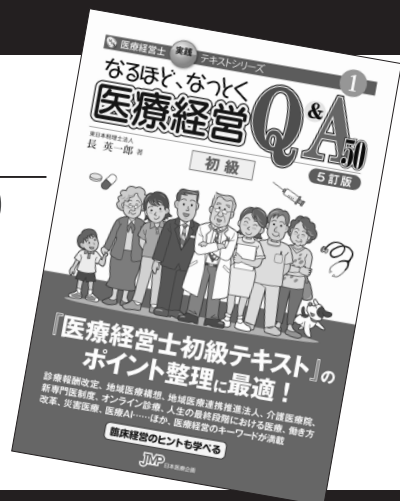
- ▶序章 最低限知っておいてほしい! 臨床経営知識キホンのキ
- ▶第1章 これで読める! 医療経営雑誌、厚労省資料
- ▶第2章 経営会議に役立つ! 医療関連法、診療報酬、介護報酬のツボ
- ▶資料 ①医療経営と関係のあるエビデンス一覧
②医療現場でよく使われる略語一覧
③よく使われる薬の商品名・適応病名・薬効一覧

改訂のポイント

- ▶2020(令和2)年度診療報酬改定に対応!
- ▶「民法改正」「発熱外来」「認知症施策推進大綱」など最新情報を加えてパワーアップ!

日本医療経営実践協会 推薦図書

『医療経営士3級試験』の受験対策書として
『医療経営士2級試験』の時事問題対策として
医療経営士の学習を
実践につなげる手引書
として必ず役立つ1冊!



事務局掲示板

第9回東京大会ポスターが完成
掲示していただける会員の方を募集中!

第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会のポスターを掲示していただける会員の方を募集中です。ご希望の方は下記お申し込みメールアドレスに「東京大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要枚数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。

【お申し込み】E-mail: info@jmmpa.jp



協会後援セミナーのご案内

9/17(木) WEB開催

フェイズ・スリーPresents
医療機関の情報セキュリティ
対策セミナー

近年、医療機関ではクラウド利用やデータの無害化、サイバー攻撃など、情報システム分野で対応していかなければいけない事項が増えている。こうした中、日本医療企画では、社会医療法人高橋病院理事長・院長の高橋肇氏、千葉県済生会習志野病院事務部長で医療経営士3級の兵藤敏美氏らを講師に迎えたセミナーを9月17日(木)にWEB開催。「院内ネットワーク強化と地域医療連携の重要性」「これからの医療情報セキュリティ対策」などについて、事例を交えながら紹介する。

■日時	9月17日(木)13:30~17:00
■形式	オンラインセミナー(ZOOM使用予定)
■参加費(税込)	無料
■お問い合わせ先	株式会社日本医療企画 セミナー事務局(担当:干場) TEL:03-3553-2885

第8回「医療経営士1級」資格認定試験 53人がエントリー

9月6日(日)、TKP築地新富町カンファレンスセンターホール2A(東京都中央区)にて実施する第8回「医療経営士1級」資格認定試験・第一次試験に53人がエント

リーしました。

第一次試験の合格者は、12月6日(日)実施の第二次試験に進み、12月24日(木)には第8回1級合格者が発表されます。

INFORMATION

ヘルスケア関連の経営・マネジメントに特化した情報提供サイトがオープン!

「ヘルスケア・マネジメント.com」

株式会社日本医療企画は、8月6日(木)にヘルスケア関連(医療・介護福祉・栄養)の主に経営・マネジメントに関する情報を提供するサイト「ヘルスケア・マネジメント.com」をオープンした。

掲載情報は現在のところ、日本医療企画が発行しているヘルスケア関連の情報誌の記事がメインだが、今後はサイトオリジナル記事や動画、雑誌との連動企画等も掲載予定。来年からは有

料会員を募り、会員限定記事も発信し、サイトの充実を図っていく。医療や介護福祉といったヘルスケア関連の情報を提供するサイトは多いが、経営・マネジメントに特化したものは他になく、医療経営士の皆様にはぜひチェックしていただきたい。

なお、同サイトではバナーやタイアップ記事等の広告出稿を募集している。興味がある方は下記問い合わせ先まで連絡してほしい。

■お問い合わせ先 株式会社日本医療企画 URL: <https://healthcare-mgt.com/>
TEL:03-3553-2863 E-mail: healthcare-mgt@jmp.co.jp



記事を掲載している雑誌一覧(2020年8月現在)

- ▶『月刊医療経営士』
- ▶『最新医療経営PHASE 3』
- ▶『CLINIC BAMBOO』
- ▶『地域介護経営 介護ビジョン』
- ▶『ヘルスケア・レストラン』
- ▶『栄養経営エキスパート』

第20回「医療経営士2級」／第31回「医療経営士3級」資格認定試験

web開催
9月上旬
配信開始!

直前ポイント整理講座

- ★出題範囲の“重要ポイント”を効率的に学習!
- ★予想問題を解きながら、知識の定着を図る!
- ★受講者限定
「特別予想問題(50問)」をプレゼント!!

- 主催 株式会社日本医療企画
- 受講料 各15,000円(税込)
- 定員 9月上旬~10月18日(日)まで(期間中なら何度でも視聴可)

- 配信期間 9月上旬~10月18日(日)まで(期間中なら何度でも視聴可)
- 講師
【2級講座】網代祐介(社会医療法人社団光仁会医療福祉連携室室長)
【3級講座】藤井昌弘(株式会社FMCA代表取締役)

※2級講座は『医療経営士中級テキスト』シリーズ全19巻、3級講座は『医療経営士初級テキスト』シリーズ全8巻(ともに日本医療企画刊)を使用します。事前にご準備ください。講座で使用する問題集は順次、郵送にて発送いたします。

【お申し込み先】株式会社日本医療企画 受験対策講座事務局(担当:原田) ☎03-3553-2885 URL:<http://www.jmp.co.jp/seminarinfo/>